

## &lt; 資料編 2 &gt;

## エディタによるウェブページの作成

エディタを使って、ウェブページ(HTML文書)を作成する基本的な方法を簡単に紹介する。

## マークアップとHTML

まず、文書がどのような構造になっているかを把握し、タイトル、見出し、段落などの文書の構造を適切にマークアップする。マークアップするためには、その内容を開始タグと終了タグで、<要素名> 内容 </要素名> のようにする。

HTML文書の基本的な構造(HTML 4.01)  
HTML文書の基本的な構造は以下の通りである。

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN"
"http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<HTML> .....
  <HEAD> .....
    <TITLE>はじめのHTML文書</TITLE>
  </HEAD> .....
  <BODY> .....
    <H1>見出し</H1>
    <P>段落</P>
  </BODY> .....
</HTML> .....
```

この文書がどのバージョンのHTMLかを示すHTML文書であることを表す(HTML要素)  
文書の関連情報を記述する場所(HEAD要素)  
文書のタイトル、検索エンジン向けのキーワード、などのデータ類を記述する。  
文書の内容(本体)を記述する場所(BODY要素)  
文書のタイトル(TITLE要素)  
文書の内容を識別するために必ず記述する。タイトルを見て、ページの内容が分かるような書き方をする。

## 章や節の見出し

<Hn> ~ </Hn> (nは1~6)

- ・最上位レベルがH1で最低位レベルがH6
- ・通常、ブラウザはより上位の見出しを大きいフォントで表示する。

```
<H1>第1章</H1>
<H2>第1節</H2>
<H3>第1項</H3>
```



第1章  
第1節  
第1項

## 段落

<P> ~ </P>

- ・段落中の強制的改行は <BR>
- ・文中で強調を示す場合は <EM> ~ </EM>  
より強い強調は <STRONG> ~ </STRONG>
- ・段落と段落の間は、通常1行あけて表示される。

```
<P>段落の中の<em>強調</em>と<strong>より強い強調</strong>です。</P>
<P>文章の途中で改行させたい場所があるときには、BR要素を用います。<BR>この直前で改行されているはず
です。改行しなければ、段落はブラウザの表示幅いっぱいまで表示されます。</P>
```



段落の中の段落とより強い強調です。

文章の途中で改行させたい場所があるときには、BR要素を用います。この直前で改行されているはずで、改行しなければ、段落はブラウザの表示幅いっぱいまで表示されます。

## リスト(箇条書き)

<UL> ~ </UL> 順不同リスト(Unordered lists)

<OL> ~ </OL> 序列リスト(Ordered lists)

<DL> ~ </DL> 定義リスト(Definition lists)

- ・順不同、序列リストでは、項目(list items)を示すのに <LI> ~ </LI> を用いる。
- ・用語の定義などに用いる定義リストの項目は、用語は <DT> ~ </DT> , 定義は <DD> ~ </DD> の組で構成される。

```
<UL>
<LI>りんご</LI>
<LI>みかん</LI>
<LI>バナナ</LI>
</UL>
<OL>
<LI>皮をむく</LI>
<LI>4つに切る</LI>
<LI>盛りつける</LI>
</OL>
<DL>
<DT>順不同リスト</DT>
<DD>箇条書きとして表示されるリストです。</DD>
<DT>序列リスト</DT>
<DD>番号付けされて表示されるリストです。</DD>
<DT>定義リスト</DT>
<DD>用語に対してその定義を表示するリストです。</DD>
</DL>
```

- ・りんご
- ・みかん
- ・バナナ

1. 皮をむく
2. 4つに切る
3. 盛りつける

順不同リスト  
箇条書きとして表示されるリストです。  
序列リスト  
番号付けされて表示されるリストです。  
定義リスト  
用語に対してその定義を表示するリストです。

### 表

- <TABLE> ~ </TABLE> 表を定義する  
border="n"という属性で、表を囲む枠線の太さをピクセル値で指定できる。
- <TR> ~ </TR> 表の行を表す  
表のコマのコンテナになる
- <TH> ~ </TH> 見出し情報を含むコマ
- <TD> ~ </TD> データを含むコマ

### TABLEの基本形

```
<TABLE border="1">
  <TR>
    <TH>組</TH><TH>番号</TH><TH>氏名</TH>
  </TR>
  <TR>
    <TD>1</TD><TD>5</TD><TD>小林 学</TD>
  </TR>
  <TR>
    <TD>1</TD><TD>8</TD><TD>斉藤 健一</TD>
  </TR>
</TABLE>
```

組	番号	氏名
1	5	小林 学
1	8	斉藤 健一

アクセシビリティの問題のため、単に文書内容を整形する目的だけで表を用いるべきでない。

### リンク

- <A href="..."> ~ </A>  
[...]にはリンク先のファイル名やURLを、  
[~]にはリンク元の文字列などを記述する。

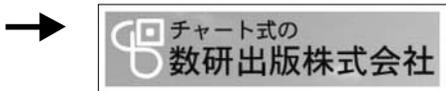
```
<P>数研出版について詳しくは
<A href="http://www.chart.co.jp/">数研出版のWeb
サイト</A>をご参照ください。</P>
```

数研出版について詳しくは [数研出版のWebサイト](http://www.chart.co.jp/)をご参照ください。

### 画像

- <IMG SRC="..." ALT=" " > (終了タグなし)  
[...]には画像のファイル名やURLを、  
[ ]には画像が表示できない場合に表示される代替テキストを必ず記述する。

```
<P><IMG SRC="suken.png" ALT="数研出版ロゴ"></P>
```



### スタイルシート

フォントの色や形などのスタイルに関する情報は、スタイルシートに記述し、文書の本文とは分離することができる。

#### 外部スタイルシート

<HEAD> ~ </HEAD>内に、次のように記述し、mystyle.css というファイルをスタイルシートとして使うことを宣言する。(実際には1行)

```
<LINK href="mystyle.css" rel="stylesheet"
type="text/css">
```

#### CSSによるスタイルの記述

エディタでmystyle.css というファイルを作成し、次のようにスタイルを記述する。

```
H1 { color: blue }
```

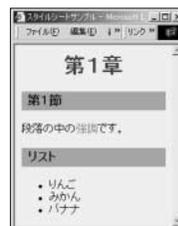
セクタ 宣言

- 最初のH1をセクタ、次の{ }で囲まれた部分を宣言という。
- セクタは、スタイルを適用する対象を示す。
- 宣言の中には、プロパティ(定義するスタイルの性質)とその値をコロンで区切って記述する。
- プロパティと値は、セミコロンで区切って複数記述可能で、複数行になってもよい。

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN"
"http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>スタイルシートサンプル</TITLE>
<LINK href="mystyle.css" rel="stylesheet"
type="text/css">
</HEAD>
<BODY>
<H1>第1章</H1>
<H2>第1節</H2>
<P>段落の中の<EM>強調</EM>です。</P>
<H2>リスト</H2>
<UL>
<LI>りんご</LI>
<LI>みかん</LI>
<LI>バナナ</LI>
</UL>
</BODY>
</HTML>
```

```
BODY { background: #99FFFF }
H1 { color:blue; text-align:center }
H2 {
font-size: medium;
font-weight: bold;
margin: 1em 0em 0em 0em;
padding: 0.2em 0.5em;
border-width: thin;
border-color: white;
background-color: #9999FF;
}
EM { font-style:normal; color:red }
```

mystyle.cssの内容



HTML文書にスタイルシートを反映させた結果